

ったようで、一安心です。

人吉城は熊本から約1時間程度走りました。鎌倉時代のはじめ、源頼朝の命を受け、人吉庄の地頭として着任した遠江国相良庄(現在の静岡県牧之原市相良)を出身とする相良長頼により修築されたと伝えられている。球磨川と胸川に挟まれた小高い丘に築城されていた。球磨川沿いの松林が素晴らしく、時を忘れていつまでも川面を見とれていました。

鹿児島城はNHKの大河ドラマ「西郷どん」で良く目にすると思います。皆さんが良くご存じなので、割愛します。

4日目は、「飢肥城」「岡城跡」「大分府内城跡」です。飢肥城は宮崎県日南市飢肥にあります。飢肥藩主である伊東氏は藤原氏南家の子孫で、鎌倉時代の工藤祐経は伊豆国にあって、源頼朝より日向国内等の地頭に任ぜられた。工藤祐経の子が伊東祐時であり代々伊東を名乗る。一時は日向国内に覇権を樹立したが、島津氏に敗れ豊後国に落ちた。その後秀吉に仕えた義祐の子祐兵が天正15年の九州平定で功績をあげ、飢肥城を与えられた。以降280年余、伊東氏が治めた。飢肥城大手門は久しぶりにお城らしいお城の門である。中庭、通路は深い緑色のきれいな苔がびっしりと生えそろう、見事である。隣接して、今では飢肥小学校、中学校、保育園などの子供たちが校庭を元気に走り回っていて、何とも和らいだ雰囲気である。尚、武家屋敷通りには「小村寿太郎」の生家が平成16年に復元されている。

岡城は大分県竹田市大字竹田にある。大手口から大手門に上る通路は結構疲れる。登りきると高い石垣風の門があり、更に登って行かなくてはならない。左手には三の丸北側のこれぞというビューポイントの高石垣がみられる。本丸には作曲家滝廉太郎の代表作「荒城の月」を銅像の前でガイドさんがハーモニカを演奏してくれて合唱となった。



岡城の高石垣

大分府内城は大分市荷揚町にあり、大分駅から北に500mほどである。かなり広大な水堀りに周囲を囲まれ、西の丸と山里丸及び北の丸を結ぶ屋根つきの廊下橋が特徴である。駆け足の4日間でしたが、とても楽しく、充実した日々を過ごしました。

次回は山陰・山陽方面に向かう予定である。

赤飯)を差し入れていただきました。バスの中で「菅藤」さんの、俄(にわか)バスガイドと阿部さんと山田さんの三人の掛け合い漫談が面白おかしく賑わい、一杯やりながらあっという間に湯沢市に到着。400年もの長い間続いたといわれる民族行事の犬っこ祭りを見学しました。雪神社に祈り、秋田犬同窓会で顔合わせ楽しんでいました。出店多く、皆さん食しながら楽しみました。



角館武家屋敷を散策し石黒家の前で集合記念写真を撮り、足早にバスに乗り込み、定刻通り上松木内紙風船会場に到着。門脇成英館長親戚家の前にバスを駐車させていただき、またトイレ使用などのお世話になりました。会場前の道路は大型観光バスが延々と駐車しており、紙風船広場は観光客でごった返しておりました。



角館・石黒家前

紙風船はさまざまな絵を描かれ、願いをこめ巨大な風船を夜空に上げる伝統行事で、地元町内会・部落の有志の尽力により受け継がれています。夜6時に一斉に紙風船が花火と共に打ち上げられ、7時には風船のみ一斉に打ち上げられ、広場に大きなどよめきと歓声が響きわたりました。



夜空にゆっくりと舞い上がる風船は幻想的でした。雪が舞い落ちればもっと幻想的と思いましたが、雪が降らなくても寒かったです。時折熱燗とおでんで暖をとり、戸沢村風船店屋台にお世話になりました。



翌日は、北秋田市・阿仁森吉山の樹氷を見学しました。スキー場に着くころに雪がやみ6人乗り Gondola に乗り20分で到着。地元の大穂耕一郎さんに案内と樹氷出来るまでの説明などをさせていただきました。

樹氷鑑賞コースを雪道約40分をゆっくり登り下り、時折青空が透けて見え大自然の素晴らしい景色と、もこもこ・ニョキニョキ(モンスター)と様々な形を見せる冬の神秘と雪の造形美と樹氷・樹霜に驚愕と感動し、皆さんそれぞれが写真撮影しました。秋田犬も歓迎してくれました。

その後田沢湖を見学して、道の駅雫石「あねっこ」で昼食をとり、盛岡から東北道に乗り数か所で休憩。19時30分に矢板駅で菅藤・佐藤夫妻の3名が降り、21時にJR東川口駅に到着し解散しました。

なお、東京秋工会(富田・佐々木・三平)の3名は、福島県湯本市で9日に予定されていた東北高校選抜新人ラグビー大会決勝戦の秋田工業対中央高校の応援に行きましたが、降雪のため中止となり両校優勝になり応援できなく残念でした。

また、いわき三春滝桜(歴史民俗資料館)は足場組立剪定作業でした。その後、郡山・黒磯駅経由で皆さんと合流しました。

この度企画していただいた。門脇成英館長に心から感謝とお礼申し上げます。新たな秋田の良さの再発見と、県外者に秋田の良さを知っていただきました。皆様と一緒に3日間楽しく過ごし事ができ大変うございました。

おーる秋田・東京ふるさと館 紙風船上げ見学ツアー に参加して

三平 俊悦

(昭和39年建築科卒)



平成31年2月9日(土)~11日(月)に、おーる秋田・東京ふるさと館紙風船上げ見学ツアーに参加してきました。総勢19名(数校)が参加し、東京秋工会から5名(富田鉄人・加藤幸夫・山形俊男・佐々木進・三平俊悦)参加しました。

9日にJR東川口駅に集合し、マイクロバスに乗り那珂川温泉「皆幸の湯」入浴してから、那須高原ふるさと館で参加者との自己紹介・山形俊男氏の秋田民謡を披露していただき、懇親会では鍋料理とお酒とで談笑し宿泊しました。

朝6時出発し途中黒磯駅で4名、矢板で参加の(菅藤・佐藤夫妻)3名と乗り合わせをし、黒磯で乗り合わせた佐藤ご夫妻から朝食(手作り